

メーカーと医療機関とのパイプ役 ——医療機器販売業——

日本医療機器販売業協会

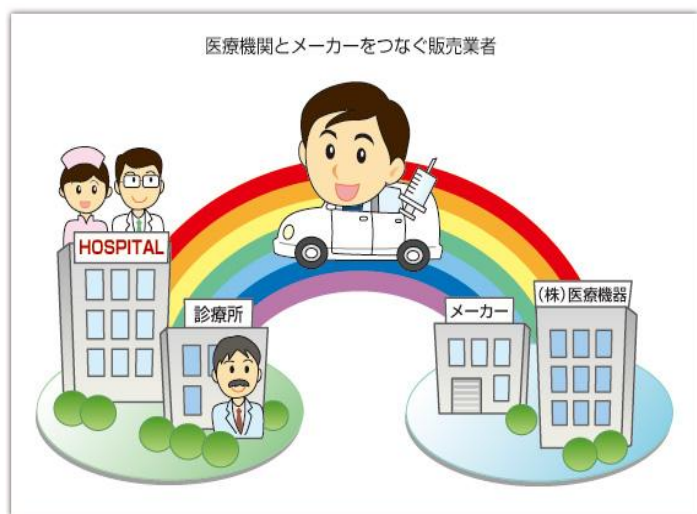
医療機関やメーカーのパートナーとして

——今まで伺ってきたさまざまな医療機器も、販売業者の方がいなければ、現場で活躍できないのですね。

そうですね。私たちは、メーカーが作った医療機器を医療機関に届けるという役割を担っています。また、医療機器に関する新しい情報をキャッチし、医療機関に知らせるとともに、医療機関からの要望をお聞きしてメーカーに伝えることも行っています。

——メーカーと医療機関とのパイプ役ですね。

はい。医療機器の販売は専門知識が必要で、誰にでもできるわけではありません。特に高度な医療機器の取り扱いには都道府県の許認可が必要です。私たちは医療機器の販売業や修理業の許認可を受けて、医療機関に医療機器を販売しています。日本はWHOに世界一の医療体制と評価されています。その要因の1つが国のすみずみにまで医療機関が存在し、地域の医療が充実しているからなんです。そしてその素晴らしい体制を支えているのが全国を網羅している私たち医療機器販売業による流通なのです。もちろん医療機器の流通だけでなく、医療現場と医療機器メーカーとの間をつなぐ情報の流通も担っています。



——確かに、医療現場に必要な医療機器や医療用材料が届かなければ、医療を行うことができなくなりますね。

医療機関に必要な医療機器や医療用材料を迅速に、そして安定的に供給することが私たちの大きな役割の1つです。それらの医療機器は、ガーゼや注射針などの、小さくて、使い捨ての消耗品から、MRIやCTなどの大型の最新機器まで多岐にわたり、サイズバリエーションも含めるとそのアイテムは60万点を越えると思われます。

—そんなにたくさんの「商品」を取り扱っているのですか？

そうですね。しかも、日々新しい製品が出るため、常に新しい医療機器の情報を管理して、医療機関の要望にいつでも応えられるようにしなければなりません。医療機器はその効果効能に合わせて少量多品種となっています。それらのバリエーションをきちんと把握することも私たちの大切な仕事です。

また、医療機器の導入に当たっては、その設置場所を始め、医療現場の効率化を考えたマネジメントも求められ、さらに技術指導や最適な医療サービスのご提案まで、多岐にわたって医療機関をサポートしています。

求められる専門性

販売の際にお話しするのは医師や看護師など専門家の方々ですから、そのお話にちゃんとお応えできるように、こちらも専門知識を持っていなければなりません。ですから、とにかく勉強の毎日です。医療は常に進歩していますし、新しい医療機器を患者さんの治療に役立てていただくためにも、常に世界中の新しい医療機器などの情報をキャッチしています。

—最近の高度な医療機器は使い方も難しいような気がしますが。

確かに最近の医療機器は大変進歩して、高性能だったり多機能だったりしますので、当然その分複雑になってきています。それだけに、私たちも時間をかけて勉強しますし、導入に当たっては、医療機関の方々にも十分な説明を行うようにしています。

また、医療機器を医療機関に設置したら終わりではなく、医療機器の性能を維持するための定期的なメンテナンスや修理も担当しています。万が一機器に不具合が出たときなどには、代替機の準備等の緊急対応を行い、治療が滞りなく行われるようにしています。



—「販売」という名前だけでイメージしていましたが、役割は多岐にわたるのですね。

緊急の手術等への対応

「これから緊急オペが入るから」と、医療機関から連絡が来ることもあります。その際には、その手術に必要な医療機器を確認し、速やかに医療現場にお届けします。緊張感も伴い、大変ですが、同時にとても使命感のある仕事です。

—医療機関から頼りにされているんですね！

医療の現場に近くにいるからできること

医療機器販売業は、全国の都道府県、市町村の医療機関をほとんど網羅していることが大きな特長の1つです。小さな医院から大きな病院まで、さまざまな現場の近くにおいて、医療機器の不具合やリコール等への速やかな対応をして、医療の安全に貢献しています。また、医療現場からの声を医療機器メーカーに伝えて、医療機器開発に役立てていただくこともあります。

医療に携えることの重要性を認識し、常にレベルアップを図る

ますます高度化する医療を支えるために、私たちも常にレベルアップを図らなくてはなりません。そのためには医療機器メーカーの勉強会や医療関連の学会等に参加したり、医療機器に関する資格のための勉強をしたりしています。その資格として、日本医療機器学会が認定する「MDIC：医療機器情報コミュニケーター」という資格や日本不整脈学会が認定する「CDR」等があります。

——医療機器販売業は通常の「流通」とは異なる大きな使命を持っているのです。これからの活躍に注目したいと思います。



医療機器等の適正かつ安定供給のために

日本医療機器販売業協会(医器販協)は、わが国唯一の医療機器販売業者の全国組織として、平成10年11月に発足し、医療機器等の適正かつ安定供給のための諸施策を推進し、会員の社会的地位の向上と業界の発展に寄与するために活発な行動をしています。

医療機器の製造業をはじめとする関連業界の統合した組織である日本医療機器産業連合会(医機連)の構成団体として、また全国1200社を超える医療機器販売業の会社を代表し厚生労働省をはじめとする所轄官庁及び関連団体に意見の発信を行っています。

※この内容は、2010年12月現在のものです。